

令和8年7月7日

各位

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野 助教候補者選考委員会
委員長 沖野 望

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野 助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

助教（テニュアトラック）・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する助教（テニュアトラック）は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース、および農学部 応用生物科学コース 応用生命化学分野担当教員となります。当該講座においては、農学・生命科学の分子的基盤である複雑な生命現象の発現と調節に係わる機能素子の作用機序の解明、機能素子間の相互作用解析とその応用を目指した研究を推進しています。また、大学院教育コースでは、生命現象を分子レベルで理解し、人類に役立てる活動を推進しうる人材を組織的に養成しています。

これらの構想の実現のために、農業薬剤化学分野では、農業薬剤・医薬品の開発と利用を目的として、効率的な有機化学反応と有機合成方法論を開発し、新規な分子骨格を有する生物活性物質群を創生する研究とそれに関連する教育を実施しています。採用予定の助教（テニュアトラック）は、化学的視点から農学生命科学の教育研究に携わると共に、農業薬剤・医薬品の開発と利用に関する専門的な視点から以下の先端的かつ異分野融合的な教育研究を重点的に展開することが求められます。当該選考では、

- 1) 農業薬剤・医薬品のための生物活性物質の分子設計法ならびに有機合成化学に基づく有用物質の供給法を創生する先端的な有機化学に関する教育研究

2) ペプチド、オリゴ核酸、多糖と天然物等の自然界由来化合物の高度利用のための有機化学に関する教育研究

3) 環境ストレス応答を制御する農業薬剤・医薬品の開発と利用に関する教育研究を推進するために、有機化学分野における専門的な知識と研究業績を有し、先進的な研究を推進できる方を求めています。

3. 採用予定時期

令和9年2月1日以降の可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有し(着任時までに学位取得予定を含む)、熱意をもって教育研究活動に取り組む方

5. テニユアトラック期間およびテニユア審査

本職のテニユアトラック期間は、採用日から5年間となります。採用の2年度目の年度末までに中間評価を行います。また、テニユアトラック期間終了前に行う最終審査において農学研究院助教にふさわしいと判断された場合は、上記期間終了後に承継教員助教(任期なし)となります。さらに卓越した成果・業績をあげた場合は、准教授への昇任を検討します。なお、テニユアトラック期間においては、研究エフォート80%が保証されます。

6. 担当授業科目

(1) 大学院

・大学院修士課程

(生命機能科学専攻生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学プロジェクト演習、修士論文研究等、必要に応じて担当します。

(国際コース)

必要に応じて担当します。

(2) 学部

(応用生物科学コース応用生命化学分野)

科学英語、卒業研究等、必要に応じて担当します。

(国際コース)

必要に応じて担当します。

(担当可能な基幹教育科目)

必要に応じて担当します。

なお、英語による授業および研究指導も担当していただきます。

7. 提出書類(書類の(1)と(2)は下記URLの様式を用いて作成願います。)

(https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/2-p4QPCIfgrmX_Z28dzRjHFXk5lpA84Zx_dvIk2OF4EL)

(1) 略歴書

(2) 業績目録(新しい順に記載)

- I 原著論文：著者名（本人の氏名にアンダーライン、また責任著者に*を記すこと）、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年、DOI、最新のIF (JCR) と被引用数 (Google scholar) を (i) 査読付き雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 査読付き国際学会プロシーディングス、(iv) その他、で区分して記載すること。
 - II 著書：著者名、題名、発行所、発行年
 - III 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年
 - IV 特許：発明者名、発明の名称、特許番号もしくは特許出願番号、特許登録もしくは特許出願年月
 - V 学会等での受賞：受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会等名、受賞年月
 - VI 国内・国際学会発表（当人が発表したものに限る 講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月、開催場所）
 - VII 外部資金の導入実績：科研費、受託研究、企業との共同研究費、その他に分類した上で、名称、研究課題名、期間、金額（当人への配分額）、代表・分担の別
 - VIII 教育・社会貢献等の実績：TA・RA、担当授業科目等
 - IX その他：資格等
- (3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1,500字程度）
- (4) 今後の教育に関する抱負（1,000字程度）
（教育実績がある場合は記載してもよい）
- (5) 自薦、他薦により次の書類
自薦の場合：応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方2名の氏名、応募者との関係、および連絡先（電話番号およびメールアドレスを含む）
選考の過程で推薦書をお願いする場合があります。
他薦の場合：推薦者2名からの推薦書各1通（各推薦書には、応募者との関係および推薦者の連絡先〔電話番号およびメールアドレス〕を記載すること）。
- (6) 主要論文3編以内の電子ファイル

提出書類（1）から（5）の Word 形式の電子ファイル、および（1）から（6）の PDF 形式の電子ファイルを一つのフォルダにまとめてください。また、提出されるファイル名には氏名を明記願います。

8. 面接等

審査の過程でプレゼンテーションおよび面接を行うことがあります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。また、オンライン面接による選考を行う場合があります。

9. 勤務地

九州大学伊都キャンパスウエスト5号館（福岡市西区元岡744）

10. 応募の事前登録と提出書類のアップロード方法

- (1) 事前登録：以下の書類提出に関する連絡先（事務局）*に、応募する旨のメールを令和8年9月24日（木）の17:00（日本標準時）までに送信してください（メールのタイトルを“九州大学農業薬剤化学分野助教応募－応募者氏名”としてください）。提出書類のアップ

ロード先（九州大学ファイル共有システム Proself）の URL を返信します。

- (2) 提出書類のアップロード方法：返信メール内のリンクを開き、ファイルをドラッグ&ドロップし、アップロードをクリックすると、提出となります。Proselfには、提出書類を提出締切日までにアップロードしてください。アップロード後は、提出した旨を事務局宛にメールで連絡してください。提出ファイルの受け取りの確認をメールでご連絡します。
- (3) 事前登録締切日：令和8年9月24日（木）17:00（日本標準時）
提出書類アップロード締切日：令和8年9月30日（水）17:00（日本標準時）

*書類提出に関する連絡先（事務局）

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座 農業薬剤化学分野 助教候補者選考委員会事務局：saiyou_r8@agr.kyushu-u.ac.jp

1 1. 公募に関する問い合わせ先

農業薬剤化学分野助教候補者選考委員会

委員長 沖野 望

電話：092-802-4706

E-mail: nokino@agr.kyushu-u.ac.jp

1 2. 労働条件等について

- (1) 業務内容：九州大学大学院農学研究院における教育・研究
- (2) 雇用期間：テニュアトラック期間 採用日から5年間
- (3) 試用期間：試用期間あり（3か月）
- (4) 就業場所：九州大学大学院農学研究院（福岡市西区元岡744）
- (5) 就業時間、休憩時間、時間外労働：
事前の同意に基づき、専門業務型裁量労働制を適用し、1日7時間45分働いたものとみなされます
- (6) 休日：土、日、祝日、12/29～1/3
- (7) 賃金：年俸制（令和2年4月1日導入の年俸制）
なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します
- (8) 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金
- (9) 募集者の氏名又は名称：九州大学大学院農学研究院
- (10) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内全面禁煙

1 3. その他

- (1) 「テニュア審査における評価基準」および「卓越した成果・業績をあげた場合の准教授への昇任基準」に関しては、上記「1 1. 公募に関する問い合わせ先」にお問い合わせください。
- (2) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法

律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

- (4) 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (5) 過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記載願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- (6) 九州大学では、教員・研究者の研究環境向上のための支援を実施しています。
- ・研究費獲得支援
 - ・研究費獲得支援プログラム
 - ・国際的研究費獲得支援 他
 - ・主に若手研究者を対象とした支援
 - ・研究スタートプログラム
 - ・研究機器・設備の共用体制整備 他
 - ・出産・育児などのライフイベントに伴う研究継続支援
 - ・学内保育施設（ひまわり保育園、たけのこ保育園）
 - ・ベビーシッター利用補助制度 他

上記以外の支援や制度詳細は、九州大学 HP をご覧ください。

九州大学 HP > 九州大学について > 教員・職員公募情報 > 研究者支援制度一覧

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/career/support>)

- (7) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページを参照してください。
(<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp>)
- (8) 送付されたデータは選考以外の目的には使用しません。選考終了後に送付されたデータは削除します。
- (9) 給与等についての規定および労働条件、その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：
国立大学法人九州大学職員給与規定：
(https://www1.g-reiki.net/kyushu-u/reiki_honbun/u437RG00000220.html)
国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則：
(https://www1.g-reiki.net/kyushu-u/reiki_honbun/u437RG00000256.html)
問い合わせ先：九州大学農学部等総務課庶務係 電話: 092-802-4505